

立候補ファイルとの対比

(組織委員会資料)

■ ロンドン2012大会(立候補ファイル)

	ハード (会場関係)	ソフト (大会関係)	計
組織委 (民間資金)		3,000	3,000
開催都市・ 国等	5,000		5,000
計 8,000億円			

立候補ファイルにおいては、ロンドン2012大会も
東京2020大会もほぼ同じ規模

■ 東京2020大会(立候補ファイル)

	ハード (会場関係)	ソフト (大会関係)	計
組織委 (民間資金)		3,500	3,500
開催都市・ 国等	4,000	500	4,500
計 8,000億円			

■ ロンドン2012大会(実際の経費)

	ハード (会場関係)	ソフト (大会関係)	計
組織委		6,000	6,000
開催都市・ 国等	7,300	7,700	15,000
計 2.1兆円			

立候補ファイルでは開催都市・国の運営経費はほとんど計上されて
いないが、実際にはセキュリティ、輸送等の行政経費がかかっている

■ 東京2020大会(V1予算)

	ハード (会場関係)	ソフト (大会関係)	計
組織委 (民間資金)		5,000	5,000
開催都市・ 国等	5,900	4,100	10,000 予備費 1,000~3,000
計 1.6~1.8兆円			

注)ロンドン2012大会(実際の経費)における組織委の欄は、政府から注入された公的資金2,000億円を含む額(1£=180JPY:2004年~2012年の平均)